

平成30年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
危機管理防災部

新規事業及び重要事業総括表

I 総 額

【一般会計】

区分	平成30年度	平成29年度	伸び率
予算総額	6,061,865千円	5,173,896千円	17.2%
一般会計構成比	0.3%	0.3%	—

【埼玉県災害救助事業特別会計】

予算総額	778,883千円	417,865千円	86.4%
------	-----------	-----------	-------

II 主な新規事業及び重要施策

(単位 千円)

1 大地震など危機への備えの強化

(1) 地震に備えたまちづくり

P 1	減災に向けた自助と共助の推進事業【危機管理課】	31,658
-----	-------------------------	--------

(2) 危機管理・防災体制の強化

P 2	防災学習センター管理運営【危機管理課】	78,420
P 3	新規 災害オペレーション支援システムの機能強化【消防防災課】	5,246
P 4	新規 ヘリコプターテレビカメラの機能強化【消防防災課】	181,548
P 5	地上系防災行政無線の再整備【消防防災課】	2,621,120
P 6	新規 若者を中心とした消防団加入促進PR事業【消防防災課】	3,992

減災に向けた自助と共助の推進事業

担当 危機管理課 震災予防担当

内線 8141

1 目的

首都直下地震の発生が懸念される中、県民の自助の取組を促進するとともに、自主防災組織による共助の活動を活性化し、災害発生時の被害軽減を図る。

2 事業内容

(1) イツモ防災(自助の取組強化)事業 11,102千円

いつもの生活の中で災害に備えるPRイベントを「イツモ防災キャラバン」と称して県内30か所で開催し、講座・ワークショップ・相談会を行う。



イツモ防災講座



ワークショップ

(2) 自主防災組織育成事業 19,525千円

防災リーダー養成などの研修・訓練への講師派遣や資機材整備への助成等を行い、自主防災組織の組織率向上と活動活性化を支援する。



災害図上訓練DIG



救護訓練

(3) 災害ボランティア団体支援事業 1,031千円

県内災害ボランティア団体が災害時対応等について話し合う場づくりを進め、災害発生に備えたネットワークの構築を支援する。

3 平成30年度予算額 31,658千円

防災学習センター管理運営

担当 危機管理課 震災予防担当
内線 8142

1 目的

平成30年3月にリニューアルオープンする防災学習センターを県民の防災学習拠点として運営し、災害に対する日頃の備えや発生時の対処について学ぶ機会を提供する。



埼玉県防災学習センター

2 事業内容

指定管理者を指定して防災学習センターの管理運営を行う。

主な展示施設（イメージ）

スイッチング・シアター

悲しみや喪失感を思い起こすショートストーリーを大画面で映し出し、災害について改めて考える。



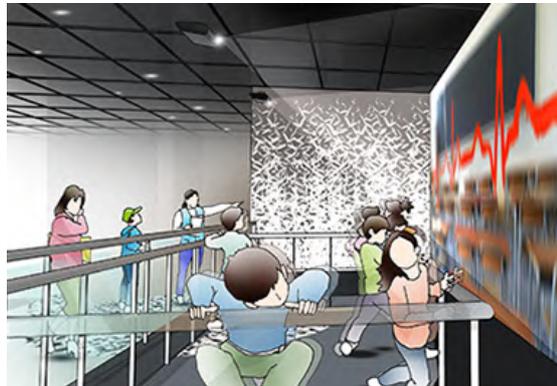
埼玉防災絵巻

災害発生後の展開をたどる絵巻で、日頃の備えや災害時の対処を学ぶ。



地震体験コーナー

CGで映し出された学校の教室など、見慣れた日常風景の中で、地震発生の疑似体験をする。



3 平成30年度予算額

78,420千円

災害オペレーション支援システムの機能強化

担当 消防防災課 災害対策担当
内線 8181

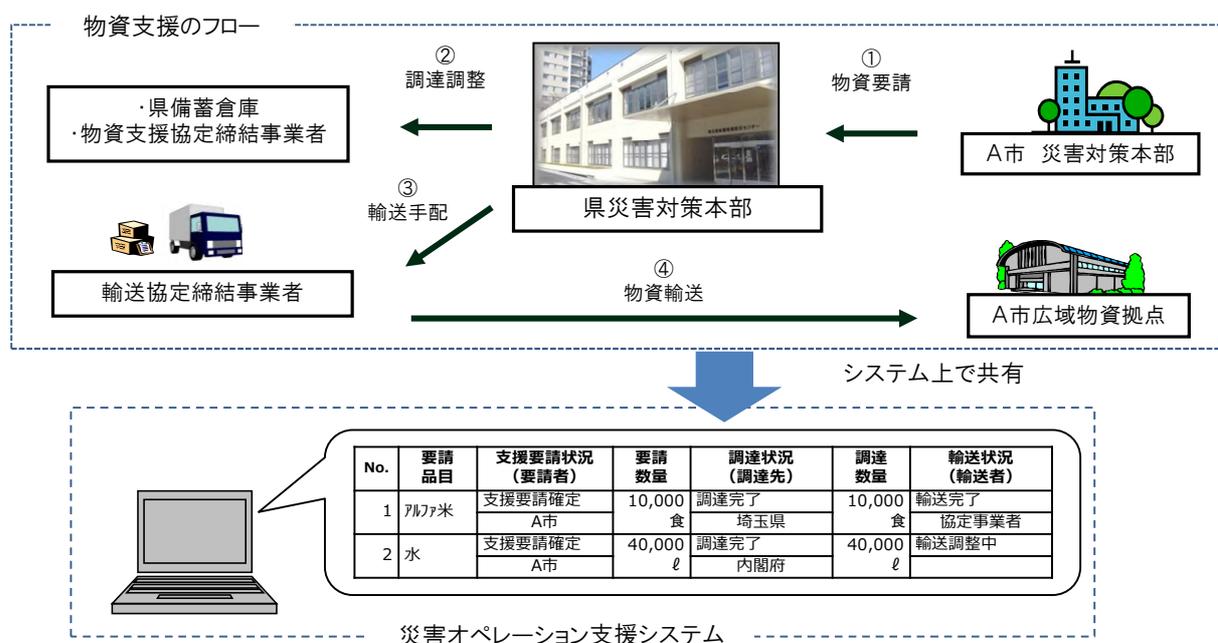
1 目的

災害対応時に防災関係機関で活用している災害オペレーション支援システムの機能を強化し、災害時の物資供給の円滑化を図る。

2 事業内容

(1) 物資支援情報の共有化

物資要請や物資の調達、輸送の状況について、国や市町村などと情報共有できる機能を追加する。



(2) 輸送ルート選定の効率化

システムの被災情報地図に、道路・河川のカメラ映像が閲覧できる機能を追加することで、最適な輸送ルートの選定を効率的に行う。

(3) 防災力強化に向けたAI・IoT活用などの検討

AI技術などの有効性や活用方法を検討するため、実証実験などを行う。

3 平成30年度予算額 5,246千円

ヘリコプターテレビカメラの機能強化

担当 消防防災課 消防広域担当
内線 8 1 7 3

1 目的

県防災ヘリコプター「あらかわ3」に搭載しているヘリコプターテレビカメラを更新することにより、災害対応能力の向上を図る。

2 事業内容

既存のアナログカメラをデジタルカメラ(サーモグラフィ機能付き)に更新し、画像の鮮明化や熱源の視覚化を行う。これにより、迅速な被災状況の把握や効率的な消火活動を可能とする。

※サーモグラフィ機能 : 表面温度を画像化する機能



(アナログ画像)



(デジタル画像)

3 平成30年度予算額 181,548千円

地上系防災行政無線の再整備

担当 消防防災課 防災情報無線担当
内線 3 1 7 7

1 目的

地上系防災行政無線システムの再整備を行うことで、大規模災害時等における情報収集・伝達手段の確保を図る。

2 事業内容

(1) 事業期間

平成29年度～平成32年度

(2) 総事業費

5, 7 2 1 百万円

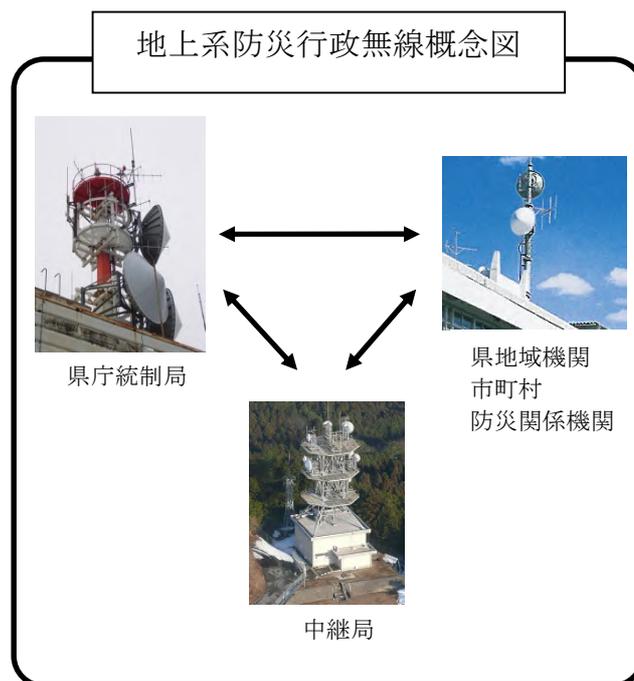
(3) 再整備の概要

- ・ 施工箇所
県庁、県地域機関、市町村等
全246か所

(4) 平成30年度事業

- ・ 地上系防災行政無線再整備工事
(県庁統制局～中継局～県地域機関の一部)

3 平成30年度予算額 2, 6 2 1, 1 2 0 千円



若者を中心とした消防団加入促進PR事業

担当 消防防災課 消防・調整担当
内線 8153

1 目的

将来にわたって地域防災の担い手を確保するため、若者（特に大学生）を対象に消防団への加入促進PRを展開する。

また、地域全体で消防団を応援する機運を醸成する。

2 事業内容

(1) 広報強化事業 2,499千円

県と市町村が大学を訪問し、学生の消防団加入への協力を依頼するとともに、消防団活動体験イベントなどを通じて学生に直接アプローチする。

また、学生消防団員に対し、SNSでの消防団活動の発信を呼び掛ける。



体験イベント（イメージ）



「坂戸市学生機能別消防団」結団式

(2) 消防団応援プロジェクト事業 1,493千円

地域で消防団活動を支援する「消防団応援の店」の拡充を図る。

3 平成30年度予算額 3,992千円